

生産方式革新実施計画の概要【有限会社 折林ファーム】

2025年
9月30日認定

活用するスマート農業技術

自動操舵トラクタ（セット球移植機）



新たな生産の方式

セット球移植栽培への転換・拡大

タマネギにおいて、サービス事業者が所有するセット球移植機を活用し省力化を図るとともに、セット球栽培※への転換と栽培面積の拡大を図ることにより、労働生産性の向上を図る。

※セット球栽培：直径2～3cm程度のタマネギ球（セット球）を定植し、栽培する方法。通常の苗移植栽培ではできない初冬収穫が可能となる。

＜申請者＞

有限会社 折林ファーム（秋田県由利本荘市）

経営概況（2025年9月時点）

経営規模：水稲60ha、ソバ30ha、タマネギ10ha、
比内地鶏15千羽

従業員数：10名

＜促進事業者＞

【サービス事業者】双日由利農人株式会社

＜対象品目＞

タマネギ

＜計画の実施期間＞

5年間

＜生産方式革新事業活動のイメージ 等＞



セット球



セット球移植の様子

～認定を受けて一言～

認定を機に異業種連携と新しい栽培技術導入による新たな農業モデルの確立を目指してまいります。

未来を担う世代が誇りを持って農業に関われるよう、引き続き挑戦を続け、この取組が広がっていけるよう努めていきます。